

家にさく季節の花

白山台小学校 五年 袖城 心春

私の家の庭には、母が育てたきれいな花々が植えられています。春から夏の間は、庭はカラフルな花でいっぱいになり、小さいけれど楽園のように見えます。前を通るたびに花が大好きな母の気持ちが感じられ、心があつたかくなります。

母は毎朝、水やりをていねいにして、花を育てています。そんな母を見ると、花がただの植物ではなく、母にとつてとても大切な存在であることが伝わってきます。母の植えた花々は美しくさき、私の家にいるどりをあたえてくれます。春には、母は桜のえだを花びんに挿し、家の中にかざります。桜の花がご飯を食べるときにも見えるので、私の生まれた春を家の中でも感じられてうれしいです。

今年の夏、母はひまわりをうえました。暑い夏でしたが、ひまわりは太陽の方を向いて生き生きしていました。元気だよと言っているように聞こえます。

私が特に好きなのは、カスミソウという花です。小さく白い花をたくさんつけるので、

きれいでかわいいです。いっしょに生けた花をより美しく見せてくれるので、そのみ力にひかれて、好きになりました。

母が庭や花びんに花を育てるようになってから季節を感じるようになり、花に関心をもつようになりました。そして、母の家族への愛がいっぱいつまっている花は、見ていて笑顔になります。かわいがられて育てられた花は、人の心もやさしくしてくれると思います。

これから秋になります。私もコスモスなど、季節の花を植えて育ててみたいと思います。そして、私たちの家をもっとたくさん花で囲み、みんなによるこんでほしいと思います。